

外国語(英語) 第74号

平成25年10月発行

読解の指導を通したコミュニケーション能力の育成 ~商業系の英語の授業を通して~

高等学校学習指導要領外国語科の目標に 「外国語を通じて,言語や文化に対する理解 を深め,積極的にコミュニケーションを図ろ うとする態度の育成を図り,情報や考えなど を的確に理解したり適切に伝えたりするコミ ュニケーション能力を養う。」と示されてい る。

国際化の時代において,特にビジネスの分 野においては,交渉や取引の場面でのコミュ ニケーションの手段として外国語(英語)は 欠かせないものである。そのため,商業系の 高等学校における外国語(英語)の占める重 要性は高い。その到達度を総合的に捉えられ る一つの手段として,全国商業高等学校協会 主催の英語検定試験(以下「全商英検」とい う。)がある。この検定は学習指導要領に準 拠しており,「聞くこと」,「話すこと」,

「読むこと」及び「書くこと」の内容が総合 的に網羅されている。

全商英検の問題を活用することは,外国語 科の目標であるコミュニケーション能力の育 成に有効な方法の一つである。

そこで本稿では,教科書の読解の指導を 通してコミュニケーション能力の育成を図り, かつ全商英検を活用した指導例を紹介する。 1 読解力を定着させる指導の工夫

教科書の読解の指導においては,内容把 握の導入の段階で教師が教材内容の紹介を 簡単な英語を用いて行うことは,生徒の興 味・関心を高めたり,「聞くこと」の力を を付けることに効果的である。

(1) 英問英答による内容把握

オーラル・インタラクションによって 内容把握を進めることにより,教師の一 方的な説明にならず,「聞くこと」や 「話すこと」の力も同時に付けることが できる。その際,地図や写真等を用いれ ば,背景知識の把握にも効果的である。

教科書の教材例(自作教材)

Ken and his friends are interested in volunteer work. Last week they went to a place where people were suffering from damage from floods. They worked very hard for the flood victims. The flood victims thanked them and gave them big smiles. Ken and his friends felt warm and happy. They thought working as volunteers meant just helping others, but they were wrong. They want to work as volunteer not only in Japan but also across borders. They especially want to work in developing countries. One day, Ken watched a TV program about a Japanese doctor working as a volunteer in Egypt. His name is Mr. Takahashi. He has contributed to medical-aid activities for over thirty years. He dug wells with local people, because people there were suffering from lack of water. Ken was moved by the program and talked about it to his friends. They were also moved by the story and wanted to learn about people under difficult conditions and help people in need around the world someday.

英間英答での内容把握の例

	T : What is Ken intersted in?		
	S1: He is interested in volunteer work.		
	T : Yes. What did he and his friends do last week?		
S2: They helped the flood victims.			
	T : That's right. Where do they want to work?		
	S3: They want to work in other countries as well as		
	in Japan, especially in developing countries.		
	T : That's right. Well, where is Egypt?		
	S4: (地図上に位置を示す)		
	T : Yes, that's right. Well, what is the problem in		
	Egypt?		
	S5: It is lack of water. People there are suffering		
	from shortage of water.		
	T : Perfect! Your answer is great!		

(2) True or False 問題

本文を読んだ後にTrue or False 問題 を用いた内容把握ができる。その際,本 文中で用いられている語(句)を以下の 例の下線部のように同意語(句)等に置 き換えれば,語彙力を身に付けることが できる。オーラル・インタラクションに よる確認を行えば,「聞くこと」や「話 すこと」の力も身に付けられる。

True or False 問題を用いた内容把握の例

<ワークシート>			
1 Ken is interested in the volunteer work <u>in other</u>			
countries.			
→across bordersの言い換え			
2 Mr. Takahashi has contributed to medical-aid			
activites for more than three decades.			
→thirty yearsの言い換え			
3 Egypt's problem is too much water.			
(1…True 2…True 3…False)			
<具体的な流れ>			
T : Let's check the answers. S1, is number 1 True or			
False?			
S1: True. (Trueの場合は, その文を声に出して読ませ			
る。Falseの場合は,正しい文を言わせる。)			
T : Yes, that's right.			
(以下、同様に確認していく。)			

(3) 要約文

本文を読んだ後に, 要約文に空所を作

り、キーワードで内容を確認する。その

際,以下のワークシートのように選択肢

を作成すれば, 語彙力も身に付き, オー ラル・インタラクションによって答えを 確認すれば, 「聞くこと」や「話すこ と」の力も身に付けられる。

要約文のワークシートを用いた例

Ken and his friends are interested in volunteer work. Last week they worked for people suffering from (a). (b), they want to work in other countries as well as in Japan. They especially want to work in (c) countries. Ken watched a TV program about a Japanese in Egypt. One of the problems in Egypt is (d). He and his friends wanted to learn about the people in need more. a ① droughts ② earthquakes ③ floods b ① moreover ② however ③ on the other hand c ① developed ② developing ③ wealthy d ① droughts ② heavy rain ③ floods ※ 空所(a)~(d)は、それぞれ以下のことを意識し たものである。 (a)…内容把握 (b)…ディスコースマーカー (c),(d)…内容把握, 語彙力 <具体的な流れ> $\ensuremath{\text{T}}$: Let's check the answers. S1, what is the answer of blank (a)? S1: It is number ③. T : OK. By the way, what is 'droughts' mean? S1: It means shortage of water. (他の選択肢について も同様に確認する。)

(4) 内容一致問題

本文を読んだ後に、「聞くこと」にも 重点を置くために、音声だけを聞かせて、 以下のワークシートに取り組ませる。

内容一致問題の作成例

本文の内容に一致するものを一つずつ選びなさい。		
1 Ken and his friends worked for		
① people suffering from droughts.		
② people in need due to floods.		
③ only their satisfaction.		
2 They learned working as volunteers meant		
① not only helping others.		
② only helping others.		
③ for being thanked from others.		
3 In Egypt,		
(1) Mr. Takahashi worked as a doctor for the		
flood victims.		
② only Japanese people worked as volunteers.		
3 local people worked to make wells with		
Mr. Takahashi.		
4 This passage is mainly about		
① Mr. Takahashi.		
② learning from volunteer work.		
③ making friends through volunteer work.		

(5) 本文の活用

コミュニケーションを図るための手段 として,生徒に自分の考えを書かせ,発 表させる場を設ける。例えば,本文の登 場人物のように将来の夢について書かせ, それを発表させることで,「書くこと」 と「話すこと」の力を付けられる。

想定される生徒の作文の例

My dream is to be an English teacher. When I was a junior high school student, I was bullied by my classmates. I lost my confidence and in the end did not want to go to school. However, my teacher always supported me in everything. She was a good English teacher, too. Thanks to her, I could graduate from the school and get back my confidence. In addition, English has become my favorite subject. That is why I want to be an English teacher like her and support and encourage a lot of students in everything in the future.

2 語彙力定着のための工夫

本文の読解だけでなく、リスニングや会 話文,英作文や文法事項等,4技能すべて において必要とされるのが,語彙力の定着 である。そこで,高等学校で約1,800語, 中高で約3,000語の指導すべき単語を出題 頻度や使用頻度の観点から,特に定着を図 りたい語を精選して,それらに順次取り組 ませることがより効果的である。

まず,教科書の本文中から精選した単語 を明示するために,対訳付きの単語リスト や文脈の中に適切な単語を入れるワークシ ートを生徒に配布する。そして,以下に示 すようなペアワークの活動等を通して語彙 力の定着を図ることができる。

これらの活動を行うことで, 語彙力の定 着だけでなく, コミュニケーション能力の 育成も図ることができる。

対訳付きの単語リスト (例)

日本語	英 語	check欄
ボランティア	volunteer	
苦しむ	súffer	
被害	dámage	
被災者	victim	
貢献する	contribute	
状況,状態	condition	

文脈の中に単語を入れるシート(例)

	check欄		
He was () from bad cold.			
The () from floods in this area was so big.			
They rescued flood ()s.			
She has () to education for a long time.			
He worked as a () in Fukushima.			
His health is in good ().			

(1) 単語リストを使ったペアワーク

対訳付きの単語リストを用いて,①教 師の後に続いて単語の発音をクラス全体 で練習する。その後,②ペアを作り,出 題者と解答者に分かれ,出題者が日本語 を読み,解答者は何も見ずに,日本語に あたる英語を答える。③解答者が正確な 発音とアクセントで英語を言い,綴りも 正しく答えられたら,check欄に「〇」 をする。これを交代で行う。このペアワ ークの後,必ず教師対生徒での確認をす るとよい。こうすることで,緊張感をも ってペアワークに臨むことができるので, 語彙力の定着に効果がある。

(2) 文脈の中に単語を入れるシートを使っ たペアワーク

(1)で行ったペアワークで単語の意味 と発音を確認した後に、文脈の中に適切 な単語を入れるワークシートを用いて、 それらの単語が文脈の中でどのように使 われるかを確認させる。その際の例文は、 教科書の本文中のものを使用したり、辞 書等から例文を参照する方法もある。

まず,①ペアを作り,出題者と解答者 を決める。②出題者は例文を口頭で読み 上げる。③空所では,手拍子を1拍入れ て,続けて例文を読む。④解答者はワー クシートを見ずに出題者の読み上げる英 文だけを聞く。⑤最後まで聞き終えたら, 解答者は手拍子の部分に入る単語を答え る。⑥単語を正確な発音で答えられたら, 出題者はcheck欄に「〇」をする。これ を交代で行う。この活動はリスニングの 強化にもつながる。(1)の活動と同様に, 生徒同士のペアワークの後に,教師対生 徒の確認を行うと,緊張感をもって取り 組むことができ,更に定着を図ることが できる。

3 全商英検の活用

(1) 問題の構成

全商英検は,各級ともにリスニング問 題が4割程度,会話文と読解問題,作文 問題(同意表現や整序文等)がそれぞれ 3割程度の出題である。その他,アクセ ント問題も必ず出題される。よって,学 習指導要領に示されている4技能を総合 的に指導する必要がある。

(2) 過去問題の活用

2の(1),(2)の活動を,教科書はもち ろん,全商英検の過去問題を参考にした 単語リストを用いる方法もある。さらに, 2の(1),(2)の活動の定着度を確認する ために,単語リストを週末課題等の家庭 学習として取り組ませ,例のような確認 テストを作成し,適宜実施することも語 彙力の定着に更に効果的である。

単語リスト(例)(全商英検第49回1級を 参考にして筆者が作成)

日本語	英語
流ちょうな	fluent
許す	allow
聴衆	audience
推薦する	recommend
理想的な	ideal
入手できる	available
調査する	investigate
謝罪	apology
謝罪する	apologize
競争する	compéte
計算器, 電卓	calculator
~の代わりに	instead of \sim
増える	increase
減る	decrease
高価な	expensive
質	quality
量	quantity
証拠	evidence
物質,材料	material
起こる	take place = occur
~を信頼する	count on \sim = trust
~に慣れる	get used to \sim ing
~と連絡をとる	keep in touch with \sim
~で役割を果たす	play a role in \sim

確認テストの例

1 第1音節を最も強く発音する語を一つずつ選び、記号 で答えなさい。			
(日えならい。 (1)ブal-low イ com-pete ウ flu-ent			
(2) 7 qual-i-ty イ ex-pen-sive ウ rec-om-mend			
(3) ブ ma-te-ri-al イ cal-cu-la-tor ウ a-vail-a-ble			
2 ()に入る最も適するものを一語ずつ書きなさい。			
(1) I want to play an important () in the plan.			
(2) Are you get () to your new school?			
(3) Please keep in () with me during holidays.			
3 ほぼ同じ意味になるように適語を選びなさい。			
(1) You can count on her.			
= You can (increase / trust / allow) her.			
(2) The accident took place here.			
= The accident (decreased / investigated /			
occurred) here.			
4 次の英語を日本語に、日本語を英語に直しなさい。			
(1) evidence (2) apologize (3) investigate			
(4) instead of ~ (5) 理想的な(6) 教授(7) 聴衆			

今後も,授業や家庭学習を通して4技能を 総合的に身に付けられるように,読解の指導 方法の工夫に励み,コミュニケーション能力 の育成に取り組んでいただきたい。

—参考文献—

- 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国 語編・英語編』 平成22年5月
- 金谷 憲編著『英語授業ハンドブック』<高校 編>2012, 大修館書店
 (企画課)